

t a k e 日記

2010 年 03 月 31 日（水） 03:57 須城谷化石探検 & 源流探査（1）

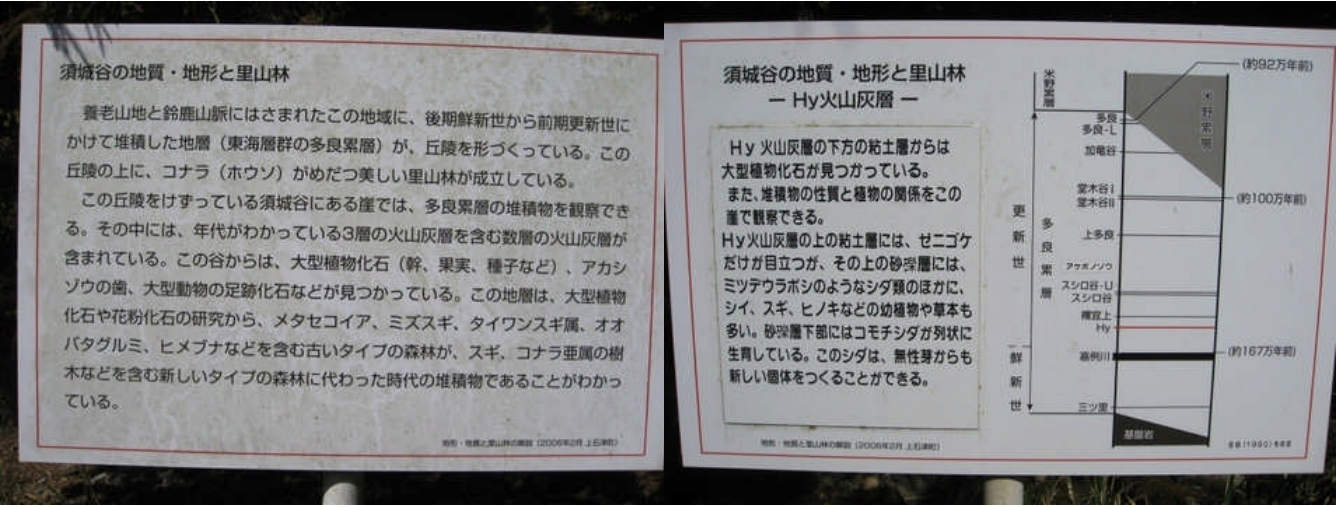
いよいよ今日が S N S 最後です

最後に昨日師匠といった須城谷化石探検と源流探査の書き込みです
今後色々と須城を活用していく予定です

まずは須城谷の概要です

約 1 0 0 万年から 1 6 0 万年前の地層です

入り口にある看板で確認してください



須城谷の入り口で氷のつららを発見、寒い朝でした
そして現世の鹿の足跡を見つけました



こんな感じで川を歩いて探検開始です
参加者は、いつもの「ひらさ & take」コンビです



途中に見た火山灰層

150万年前くらいの地層

祢宜上火山灰層だと思われます

綺麗に白い火山灰が層になっています

昔の人は、磨き砂として使ったとか



ここでは、後から新たな発見が待っています

昇順|降順 コメント

1: 2010年03月31日(水) 09:00 ひらささん

この火山灰層、いつもはほとんど見ることは出来ませんが、火山灰層からの霜柱で表面が綺麗になり、初めて真っ白な姿を表しました。この写真は貴重です。

この谷は、鹿の足跡化石で全国的にも有名になりつつありますが、同時に今生きている鹿の足跡も見られ、そのまま比較できるのが教育的価値を高めています。

滝の横で凍りついたツララが素晴らしく綺麗でした。

t a k e 日 記

2010 年 03 月 31 日（水） 04:18 須城谷化石探検 & 源流探査（2）

1 9 8 7 年 に アカシゾウ の 化石 が 発見 され た 崖 です



昨年子供たちと足跡化石の断面のレプリカを作った場所です



今回新たにここから本流を外れた支流の崖で象の足跡らしき断面を発見しました



昇順|降順 コメント

1: 2010年03月31日(水) 09:10 ひらささん

ここからは、アケボノゾウ(アカシゾウの仲間)の臼歯化石が千葉大学の当時の学生さんによって発見され、彼の専門は植物花粉の化石なため、象の研究者の手に渡り、その後の行方がはっきりしていませんでしたが、現在は千葉大学に保管されていることが分かりました。

合併前の上石津教育委員会的时候にも、レプリカ製作の要望をお願いした経緯がありますが、専門家が不在なため許可を得られませんでした。(つづく)

この付近の地層にはまだまだ象の足跡化石が沢山あり、これからも発見が続きます。切り立った崖ですから、足跡化石の断面という形ですが、こうした出かたも他では珍しく、貴重な資料です。

t a k e 日記

2010 年 03 月 31 日 (水) 04:31 須城谷化石探検 & 源流探査 (3)

この支流は思ったより奥が深くて上流で更に枝分かれした谷が幾つもありほぼ源流近くまで行ったのですが、支流でも 30 分以上奥がありました

上流は、豪雨で立木が倒れ土砂も想像以上に堆積していました
所々に地層が見れる崖があり興味深い場所でした





昇順|降順 コメント

1: 2010 年 03 月 31 日 (水) 09:16 ひらささん

この谷の入り口は細い流れでしたが、想像以上におくが深く、2 時間以上かかったの調査になりました。

地層は所々に顔を出していますが、須城谷では見られない、更に新しい年代の火山灰層が何枚も見られ、これからの研究調査に広がりが出る可能性があります。

2010 年 03 月 31 日 (水) 04:51 須城谷化石探検 & 源流探査 (4)

お昼を食べ本流に戻り本流の源流付近まで探索しました

いつもの堰堤より上は所々面白い地層が見える崖はありましたが化石を発見するまでには至りませんでした

こちらもかなりの土砂が堆積していました

時間も 14 時を過ぎたので次の谷へ移動をにかけているとき、偶然にも平成 17 年に実施された足跡化石調査団の団長であった岡村さんが須城谷を上ってみえました

京都大学の研究者と一緒に先般発見された可児市の河床にあった象の足跡化石を見に行ったら帰りに立ち寄られたのでした

ワニらしき足跡に興味も持たれてわざわざ岐路の途中に寄られたんです





色々を見ていただいたのですが、ワニの足跡かなって期待を寄せていた足跡は、鹿の足跡と思われるとの事でした

少し残念、いやいや相当残念

でも現地で確認していただけて本当にラッキーでした

岡村さんは、足跡化石では権威の方で足跡化石を見ただけでその動物がどのような状態で足を付いたとか地面の状況まで詳しく説明していただきました

でも年代から言ってワニが出てもおかしくない地層だそうで今後の調査に期待と夢が持てました

そういった意味で今回の探検は、非常に有意義でした

昇順|降順 コメント

1: 2010 年 03 月 31 日 (水) 09:25 ひらささん

偶然にも何年ぶりかでお会いした岡村喜明先生、お元気そうでした(^^)

日本が誇る足跡化石の権威です。もの凄い確立での出会いでしたが、色々なコメントを頂き、これまでの調査の中での疑問がすべて解けました。

可児で見つかり、新聞を賑わせた足跡化石群は、やはり保存が悪く、窪みが沢山あるだけでなんやわからんけど、ここの足跡化石は保存が良いので・・・教育的な面での活用も期待されていました。(^^)/

これについては、take & ひらさの出番ですね。

まずは5月2日が今年の最初です。

2010 年 03 月 31 日 (水) 04:57 須城谷化石探検 & 源流探査 (5)

アカシゾウの化石が出た地点も確認

足跡の化石と思われる断面もほぼ間違いないだろうとの事でした
これで子供たちにもはっきりと説明できますね





昇順|降順 コメント

1: 2010年03月31日(水) 09:37 ひらささん(つづき)

ここで見つかったアケボノゾウの臼歯化石のレプリカつくりの話を岡本先生に持ちかけたところ、同行していた京都大学の方の知り合いが千葉大学に見えるとのこと・・・レプリカ作りのための標本の貸し出しの交渉をお願いできました。

これで、念願の上石津産アケボノゾウ臼歯化石が、たとえレプリカにしても、地元で紹介できる可能性が高まってきましたね。

製作には、take & ひらさが担当できると思います。

うまく行けば、化石のレプリカ作りと地層見学・化石採集の教室でも、みんなに作ってもらえるように頑張りたいと思います。(おわり)

これが実現できることで、講座内容にもの凄い深みが出てきますよ。(^^)

2010 年 03 月 31 日 (水) 05:06 須城谷化石探検 & 源流探査 (6)

我々が最初に見た火山灰のあった地層を見ていただいたら新たに象の足跡化石の断面を見つけられました





今まで発見されていた年代と違う年代の地層から象の足跡の化石が発見された事になります

須城谷は、まだまだ未知の場所でかなり貴重な化石が発見された場所です

SNS は、本日で終わりますがこれからも「ひらさ & take」コンビで色々と調査して情報をアップしますので期待しててくださいね

今朝は、SNS のレスポンスが悪く時間が掛かってしまいました

もう朝の出勤準備の時間ですのでとりあえずここまで

ひらささんがコメント付けてくれると思います

昇順|降順 コメント

1: 2010 年 03 月 31 日 (水) 09:47 ひらささん

今回は、岡村先生に色々な話や、鑑定の注意点など教えていただきました。

これをもとに、調査を進めると、もっともっと幅広い年代の地層で、足跡化石が見つかる

てくると確信できる調査でした。

これからの活動に期待してくださいね v(^')b

この成果は、ウイークエンドファミリースクールなどの色々なところでお知らせしたいと思いますので、興味のあるなしに係らず一度は参加して、実物を見てください。

take さんお疲れ様でした。(^^;)

2: 2010 年 03 月 31 日 (水) 16:56 ROSE さん

すごい場所ですね！

これからも、いろいろな情報楽しみにしています。

これからも、よろしくお願いします。

3: 2010 年 03 月 31 日 (水) 17:32 せいちゃんさん

t a k e さん ひらさ さん

色々情報有難う御座いました。

新しいサイトの連絡は

市から有りませんが

これからも、宜しくお願いします。

4: 2010 年 03 月 31 日 (水) 22:11 ライオンさん

私の知らないわからないことばかりですが。日記を読んでいるとドキドキ。。。たいへん貴重な経験をさせていただいています(^~^){ありがとうございます！

t a k e さん

これからもよろしくお願いいたします！